



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 芳賀町下原新町自治会で防災講話を実施 ～自衛隊の経験を活かし、地域防災力向上へ！～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 涌井准尉）は10月5日（日）、芳賀町下原新町自治会において実施された防災訓練において、防災講話および簡易担架の作成体験を実施した。

この防災訓練は、同自治会の呼びかけにより実施されたもので、子供を含む71名の住民が参加し、訓練は町内放送を合図に訓練が開始され、住民は徒歩で芳賀町工業管理センターまで非難移動を行った。センターでは真岡募集案内所の涌井所長による防災講話が行われ、能登半島地震で自衛隊が実際に行った災害派遣活動を例に挙げながら、発災時の初動対応について説明した。講話後に限られた資材で搬送手段を確保する「簡易担架作成方法」も紹介し、参加者たちは毛布と棒を用いて実際に作成・搬送を体験した。子どもたちも興味を持って積極的に参加し、笑顔が見られる中にも防災意識の高まりが感じられた。

今回の取り組みは、真岡募集案内所から自衛隊に入隊した隊員の保護者からの依頼を受けて実現したもので、地域と自衛隊との信頼関係の深さがうかがえるものとなった。

真岡募集案内所では、「今後も自治体や地域団体と連携し、防災啓発や自衛隊募集広報活動を積極的に行っていく」としている。

## カンセキスタジアムホームゲームイベントで「はたらくクルマ展」！ 栃木SC vs 北九州戦観戦客に自衛隊をアピール！！

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子・陸佐）は10月5日（日）、カンセキスタジアム（宇都宮市）で開催された「はたらくクルマ展」で広報展を実施した。

当日は天候に恵まれ、栃木SC vs 北九州の試合が行われることもあり、多くの来場者が訪れた。「はたらくクルマ展」では、警察、消防の車両、高所作業車に加え自衛隊の1/2tトラックなど、多くの「はたらくクルマ」が展示されて賑わいを見せていた。また、広報ブースでは制服試着、自衛隊説明コーナー、缶バッチ作成などを設け、記念撮影をする来場者で活気にあふれていた。ミニステージでは、「はたらくクルマ」に関する紹介、お仕事の紹介」として迷彩服姿で自衛隊についてアピールするとともに、栃木地本キャラクター「りく」の紹介で、会場を大いに盛り上げた。写真を撮っていた来場者は、「子供が自衛隊大好きなので、まっさきに自衛隊の車を見に来ました！大きくなったら、ぜひ自衛隊に入れてください」と笑顔で話す親子の姿が見られた。



ミニステージでお仕事・はたらくクルマ紹介と「りく」の紹介



会場にはたくさんの「はたらくクルマ」が展示された。



1/2tトラックの展示の様子



缶バッチ制作の様子



「りく」と記念撮影をする来場者たち